

救急医療行政		講義	教授 千明 政好
科目カテゴリー	救急救命士コースの専門基礎分野科目	科目ナンバリング	133301

1. 授業のねらい・概要

本授業は、社会保障・社会福祉と医療体制の仕組み・問題点・課題点の理解を深めるとともに、救急救命士としての関わりを探究する。

2. 授業の進め方

テキストに加え、授業内容に沿った動画や資料を活用して説明を行うとともに、グループワークなどのアクティブラーニングによる授業展開を行う。

3. 授業計画

1. 社会保障・社会福祉の概要 わが国の社会保障・社会福祉の概要を把握する。 2. 社会保障とその仕組み わが国の社会保障とその理念、社会保障制度、社会保障給付費の現状・将来の見通し等について理解を深める。 3. 社会保険制度 わが国の医療保険制度、介護保険制度、年金保険制度について理解を深める。 4. 社会福祉と公的扶助（国家扶助） わが国の社会福祉の仕組みと「国家扶助」について理解を深める。 5. 社会福祉と公的扶助（児童福祉） わが国の社会福祉の仕組みと「児童福祉」について理解を深める。 6. 社会福祉と公的扶助（高齢者福祉・障害者福祉） わが国の社会福祉の仕組みと「高齢者福祉」・「障害者福祉」について理解を深める。 7. 医療行政（医療供給体制） わが国の医療供給体制について理解を深める。 8. 医療行政（医療機関） わが国の医療機関の仕組みと現状・将来の見通しについて理解を深める。	9. 医療行政（救急医療） 医療計画の一つである「救急医療」についての理解を深める。 10. 医療行政（災害医療） 医療計画の一つである「災害医療」についての理解を深める。 11. 医療行政（へき地医療・周産期医療・精神科医療） 医療計画の一つである「へき地医療」・「周産期医療」・「精神科医療」についての理解を深める。 12. 医療行政（地域医療構想） 地域医療構想の進め方について、グループ単位での検討を行う。 13. 医療行政（群馬県における現状と課題） 群馬県における医療行政の現状と課題について理解を深める。 14. 医療行政（発表会） 一連の授業の内容を踏まえてスライド資料を取りまとめ、グループ単位で口頭発表を行う。 15. 医療従事者・総括 医師、看護師、救急救命士等の医療従事者について理解を深めるとともに、我が国の社会保障・社会福祉と医療体制における問題点・課題点に対して救急救命士がいかに関わるべきかについて考察を行い、一連の授業の総括を行う。
---	--

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

1) 予習（50分）

適宜提示する事項について事前学習・課題作成を行い、授業時に提出する。

2) 復習（40分）

授業内容の振り返りを行い、授業で使用了資料の整理等を行う。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

口頭や資料提示等により、個別または授業中の講義を通じて行う。

6. 授業における学修の到達目標

わが国の社会保障・社会福祉と医療体制の仕組み・問題点・課題点について正しく理解し、その問題点・課題点に対して救急救命士がいかに関わるべきかについて、探求し続ける資質を身に付ける。

7. 成績評価の方法・基準

成績評価は、課題の提出状況（20%）、授業への取り組み姿勢・発表力・質疑への応答力（20%）、課題レポートの内容（60%）により総合的に行う。

8. テキスト・参考文献

改訂第10版救急救命士標準テキスト（へるす出版）
適宜指定する資料

9. 受講上の留意事項

本科目は、本コースの全学生が履修しなければならない。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当有無

該当する。本授業は、救急医療行政に関わる公的機関における実務経験を活かして指導する。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。